

科目名	オペラ実習Ⅰ	形態	実習	開講期	春学期
担当教員	松下 雅人	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

本学のオペラに関する授業は2年次春学期履修の「オペラ基礎演習Ⅰ」にはじまり4年次秋学期の「オペラ実習Ⅳ」で完結する。各ゼメスターは段階履修を基本として、修得した知識と技能を積み重ね身につけていく。

当該授業オペラ実習Ⅰ及びⅡはモーツァルトオペラ作品のシーンを題材としてレチタティーボの歌唱法を体得する。

音楽様式を学術的にとらえ、各々の解釈で表現力豊かに演奏できるようにする。

楽譜を読み解く能力を育てることを目標とする。

オペラ全曲演奏を実施する「オペラ実習ⅢⅣ」に繋がる授業として位置づけられる。

＝履修の条件と学習の方法＝

1. 無断欠席、遅刻厳禁。
2. 譜読みを暗譜確認までに完全に終了しておく事。
3. 協調性を持ち互いを認め合う姿勢
4. カレッジオペラに合唱参加すること。
5. 公演制作に積極的に係ること。

＝授業内容＝

- 1回 授業ガイダンス、キャスティング
- 2回 音楽稽古
- 3回 音楽稽古
- 4回 音楽稽古 ピアノ合わせ
- 5回 音楽稽古 アンサンブルまとめ
- 6回 暗譜確認
- 7回 立ち稽古
- 8回 立ち稽古
- 9回 立ち稽古
- 10回 立ち稽古
- 11回 立ち稽古
- 12回 立ち稽古
- 13回 立ち稽古
- 14回 リハーサル
- 15回 試演会

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況と授業に対する研究姿勢。試演会における個々の演奏の上達度。

＝テキスト（必携）＝

プリントを配布